

新型コロナによるスーパーの 消費者の購買行動変化

—中国の地方スーパーに対する実証分析—

専修大学商学部 孫 維維

Changes of Purchasing Behavior of Supermarket in the background of Covid-19
—Empirical Analysis of Local Supermarkets in China—

Senshu University, School of Commerce Weiwei Sun

本稿では中国河北省承德市にある地方スーパーに注目し、新型コロナ感染症が発生する背景にはスーパーの消費者の購買行動にはどのような変化が起きているかを考察した。そのなかでとくに購買行動パターンや商品カテゴリーへの需要、または決済手段の変化について考察した。

その結果、消費者は行動制限の影響を受け、購買頻度が減少した一方で、客単価及び平均買上点数が増加した動きが見られた。決済手段については現金などの接触型・半接触型決済への利用金額減に代わって非接触型決済サービスの利用が増加した。

キーワード：中国、新型コロナ、スーパー、購買行動

In this paper, we focused on local supermarkets in Chengde City of China, and considered how supermarket consumers' purchasing behavior has changed in the background of Covid-19. Among them, we considered the changes in purchasing behavior patterns, demand for product categories and payment methods.

As a result, consumers were affected by behavioral restrictions, and while the frequency of purchases decreased, the average purchase amounts and quantity of per customer increased. Regarding payment methods, the use of contactless payment services has increased in place of the decrease in the amount used for contact-type and semi-contact payments such as cash.

Keywords : Chengde City, Covid-19, Supermarket, Purchasing Behavior

1. はじめに

2020年1月に暴発した新型コロナウイルスは世界に健康をはじめ政治、経済、社会にまで大きな影響を及ぼしている。感染症拡大防止のため、各国がそれぞれ感染対策を出しているなか、日本では政府が3つの密（密閉、密集、密接）を避けるというスローガンを掲げることにした。中国において政府は都市封鎖や個人の外出自粛などの施策を行っていた。こうした背景に観光産業や外食産業は客数の激減と直面し、多大な打撃を受けている一方で、逆に業績が伸びる産業がいくつかあげられる。例えば、食品スーパーや情報通信、通販、物流などの産業が代表となる。本稿は中国河北省承德市にある地方スーパーを考察対象にし

て、コロナ禍による消費者の購買行動の変化、とりわけ商品カテゴリー別の消費支出と決済手段への影響を掴もうとする。ここでは地域の経済環境と感染状況から確認する。

1-1. 河北省と承德市の経済環境と感染状況

河北省は北京と天津に隣接し首都経済圏の一環として「京津冀経済区」と呼ばれている。2014年に習近平国家主席は京津冀地域の共同開発が重大な国家戦略として河北省が首都経済圏の発展に不可欠な役割を果たすべきだと強調した。2015年4月に中央政治局会議では「京津冀協同発展計画綱要」が承認され、河北省の経済発展に拍車をかけた。2018年河北省のGDPは36,010億元となり全国平均より上回った。経済の発展に伴って

近年 1 人当たり GDP と可処分所得水準が上昇してきたが、全国平均と比べるとまだ低い水準にとどまった。

また、社会消費財小売総額は 16,537 億元（2013 年 392.6 億元の 42 倍）となり、河北省 GDP の 45.9% を占めていた。限定金額以上小売企業の法人数と年間販売金額は平均以下となり、経済成長にあたってこれから発展する余地が大きいと見込まれる（表 1）。

河北省の北部にある観光都市として知られる承德市は 353.2 万人を持っており、2018 年に承德市の GDP 1,481.5 億元のうち第 3 次産業が 668.2 億元を寄与し、GDP の 45.1% を占めていた。1 人当たり GDP について承德市は 4.2 万元であり、河北省主要都市（11 市）において 6 位となった¹⁾。

感染状況については、2020 年 1 月から 11 月までで河北省の新型コロナの累計感染者 373 人のうち承德市は 7 人となり、河北省各地域と比べると最も少なかった地域である²⁾。19 年末から新型コロナは武漢を中心に中国全域に広がっていて、都

市封鎖と交通遮断が相次いで実施された。河北省は 20 年 1 月から 4 月初めまで厳しい行動制限をとっていた。政府は一般市民に対して自粛の要請を出し日常出入り行動を最小限に抑えた。その結果、人々の在宅時間が大幅に増加する一方、外出時間が短縮になり外出の範囲と目的も限られている。こうした状況で消費者の購買行動パターンはどのように変化していくのかを考察する。つぎに承德市の小売市場環境と特徴について整理する。

1-2. 新型コロナの背景における承德市小売市場環境の変化

新型コロナ感染拡大の影響は承德市の経済成長に打撃を与えて、1 月から 3 月にかけて「情報通信、ソフトウェアと情報技術サービス」（8.1%）「賃貸と商業」（4.2%）と「不動産」（4.0%）関連分野の業績が昨年より伸びた以外に、「教育」や「文化、体育と娯楽」を含める 6 分野とも激減していた³⁾。一方、政府管理の早期介入によってある程度感染拡大が防止された。4 月から一般市民に

表 1 2018 年河北省・全国の経済状況

	河北省	平均	標準偏差	最小値	最大値	偏差値
GDP (億元)	36,010	29,507	23,516	1,478	97,278	0.28
1 人当たり GDP (元)	47,772	65,253	28,648	31,336	140,211	-0.61
可処分所得 (元)	23,446	28,166	11,279	17,286	64,183	-0.42
個人支出 (元)	16,722	19,927	7,114	11,520	43,351	-0.45
食料品／タバコ／酒	4,271	5,603	1,707	3,688	10,728	-0.78
衣料品	1,257	1,331	358	617	2,176	-0.21
居住関連	4,050	4,652	2,816	2,103	14,209	-0.21
日用雑貨／サービス	1,139	1,197	374	622	2,372	-0.16
交通通信	2,355	2,689	853	1,641	4,881	-0.39
教育／文化／娯楽	1,735	2,232	786	609	5,049	-0.63
医療保健	1,541	1,726	562	460	3,275	-0.33
その他	374	497	227	263	1,282	-0.54
限定金額以上の小売企業法人数 (社)	2,432	3,155	2,436	90	8,585	-0.30
従業員数 (人)	242,965	212,140	161,128	5,871	675,995	0.19
年間売上金額 (億元)	2,990	4,032	3,405	175	13,403	-0.31
社会消費財小売総額 (億元)	16,537	12,160	9,733	598	39,501	0.45

注：限定金額以上小売企業とは年間販売金額が 500 万元以上、従業員数が 60 人以上の小売企業である。
出所：中国統計局『2019 年統計年鑑』に基づいて作成。

表2 主要小売企業

小売業態	代表企業（創業年）	場所
百貨店・ショッピングモール	承德百貨店（1990）藍島（2002）双百（2008）金龍（2012）宜家旺（2014）	双橋区、双灤区
スーパー	寛広（2005）佳佳（2006）福満家（2013）大潤発（2013）	双橋区
コンビニエンスストア	寛広（2005）福満家（2013）金添商贸（2019）	双橋区、双灤区
家電量販店	国大電器（2002）大中電器（2015）	双橋区、双灤区

出所：愛企査工商企業登録情報検索による筆者整理。

対する行動制限が緩和され、政府は経済回復を促進する取組を積極的に行った。例えば、5月にショッピング、外食及び農産物販売を中心に「消費促進活動」を実施するとともに、非接触型購買体験や観光地入園料減免などの対応策を出した⁴⁾。それによって消費財市場が回復しつつあり、6月までに限定金額以上小売企業は54.5億元の販売金額を創出した⁵⁾。

1-3. 小売業の特徴

2017年に限定金額以上卸・小売企業211社は142.0億元の年間販売金額を達成し、社会消費財小売総額（603.4億元）の23.5%を占めていた⁶⁾。卸・小売業の上位企業累積集中度はまだ低い水準にとどまっており、分散的市場構造であると言える。また2020年11月時点の承德市主要小売企業は表2でまとめた。小売企業の出店戦略から見ると中心市街地や商店街に集中しているため、都市中心部では熾烈な競争が行われるにもかかわらず、ニュータウンでは店舗が過少であるため買物不便という問題が起きている。

2. K企業グループ

2-1. K企業グループとスーパーの展開

K企業グループは2005年創業した河北省にある有力な小売企業であり、2020年6月に中国連鎖経営協会が公表した「2019年中国スーパー百強」にランクインして、グループ連結年間販売額は28.9億元⁷⁾となり、前年より0.5%増加した。グループ傘下には商社、百貨店、スーパー及びコンビニエンスストアなど多様な業態が携わられている。そのうち、スーパーは核心事業として位置づ

けられ、2019年にスーパーの年間販売金額が19.3億元（約306億円）となり、グループの6割強を占めていた。現在承德市を中心に展開して隣接する唐山市を含め34店舗を有している（2020年10月時点）。今回は承德市中心部繁華街に立地するS店（1号店）を研究対象にして、新型コロナが発生する前後、消費者の購買行動の変化について考察しよう。

2-2. 新型コロナによる店舗販売額への影響

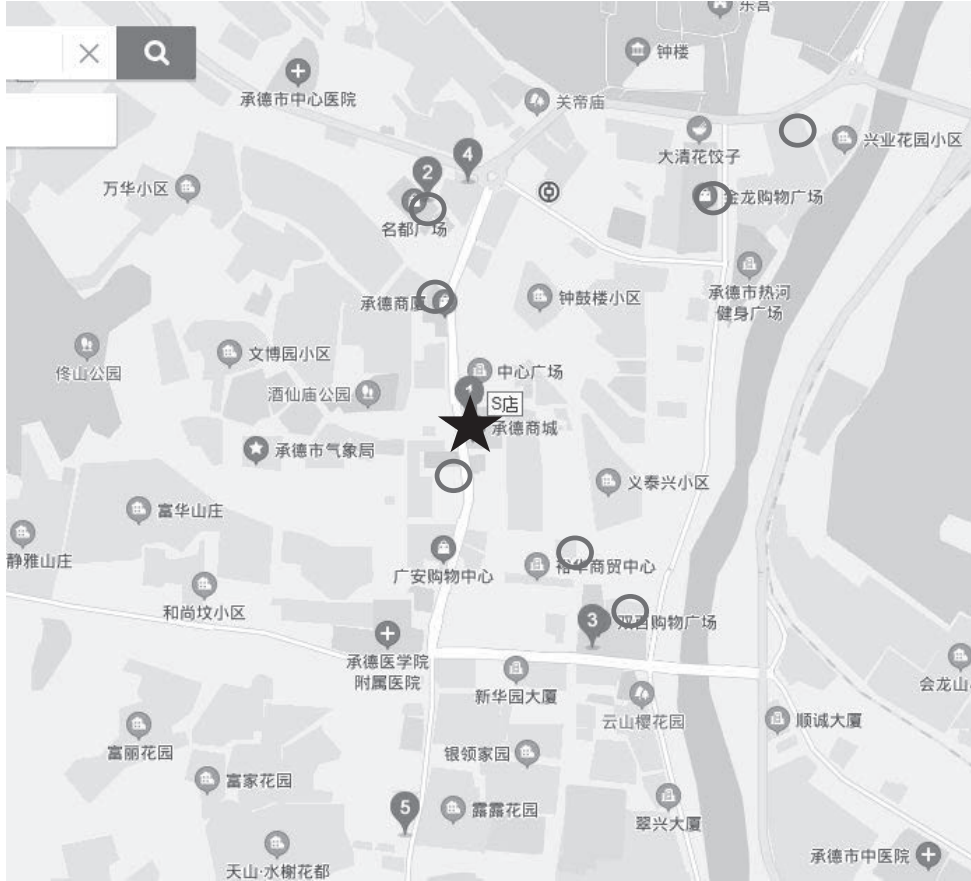
(1) S店周辺状況

双橋区は承德市主要観光地、駅を含む地域であり、2019年地域人口は46.3万人となった。S店は双橋区の中心繁華街に立地し、エリア周辺1km範囲では住宅地、オフィスビル、ホテルが多く、地域人口密度が高いエリアとなる（図1）。エリア内では百貨店・ショッピングモールは7店、同社競合店舗は5店存在しており、そのうち2店舗はS店と500m離れて立地している。2019年該当エリア6店舗の年間販売金額は承德市30店の23.4%を占めて、S店は第3位（11,525万元）となった（図2）。

(2) 売上状況と売れ筋商品の変化

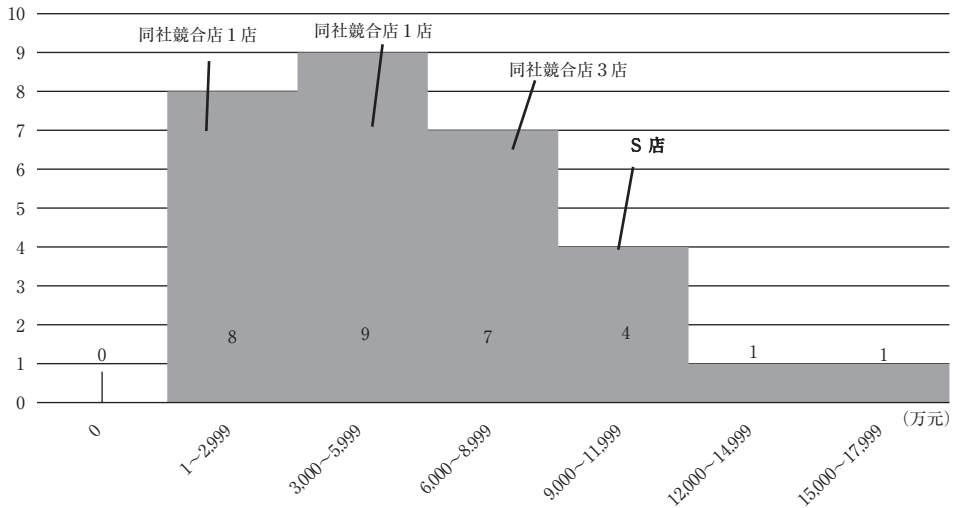
2020年1月から中国の旧正月（春節）を迎えるため⁸⁾、食料品や清掃用品、衣料品などの買物ピークが現れてきたが、月末に新型コロナ感染症が中国全域において拡大するにつれて、各地域では外出回避や自宅待機という政府の要請を受けて外出頻度を最大限に抑えた。こうした状況でスーパーの来店客数と買物回数が大幅に減少し買上金額が1月の1,486.6万元から2月の684.0万元まで54.0%減少した。3月から感染症対策が効き、

図1 S店周辺1kmの商業環境



注：★マークはS店、円マークは百貨店・ショッピングモール、数字マークは同社競合店である。
出所：map.baidu.comによる。

図2 2019年承德市30店舗年間販売金額度数分布



出所：POSデータによる筆者作成。

全国感染者数が2月の68,033人から1,730人まで減少してきて感染状況が好転したため、外出自粛に関する制限が緩和された。かつ感染症患者回復の新聞記事と報道が相次いで出されて、日常生活は徐々に従来の生活パターンに戻ってきた。それに伴いスーパーの経営状況も一転して3月から回復傾向を見せていた(図3)。その一方、客単価と購入点数からみると、2月は1月に比べて1回買物当たりの商品購入点数は5.3から8.5まで上昇した。それは感染症に対する不安で買い溜めが起きていると推定された。このような状況は3月まで続いた(表3)。

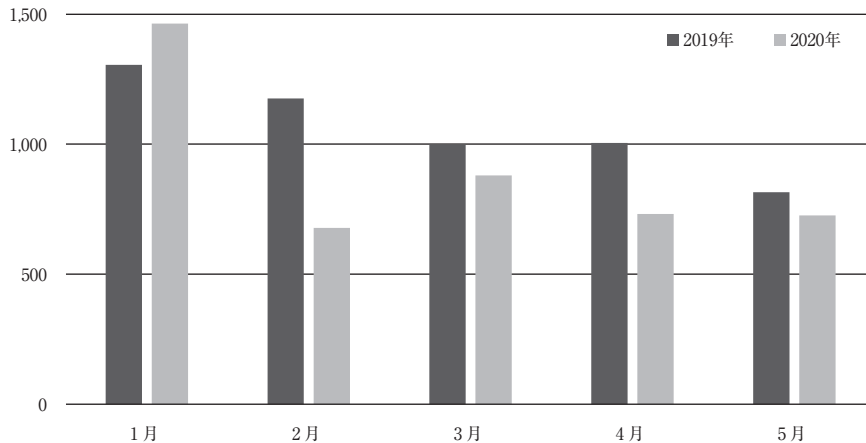
また感染症拡大期間において商品カテゴリー別の売上状況については表4で示す通り、1月から5月までに一般食品、惣菜、チルド商品及び家電製品の販売金額は前年より増加した一方で、それ以外のカテゴリーはすべて売上減少になってい

た。さらに1月から6月までに売上金額変化上位20種類の商品をカテゴリー別に整理すると図4のようになる。売上が上昇したのは精肉、日配、米・小麦粉・油などの計画購買項目であった。逆に果物、酒類・ドリンクへの買い求めが激減した。

(3) 決済手段利用状況の変化

つぎに1月から5月まで決済手段の変化について、現金、商品券とキャッシュカードという接触・半接触型の決済手段の利用率が減少し、とりわけ2月の感染状況が最も厳しい時期に7.5%減少となった(図5)。その一方、ウィーチャットペイとアリペイを代表とする非接触型の決済手段が多く利用されていた。さらにウィーチャットペイとアリペイの利用状況に関してウィーチャットペイの利用金額がアリペイよりはるかに上回ることは確認できた。

図3 2019年と2020年1~5月売上金額の比較(単位:万円)



出所: POS データによる筆者作成。

表3 2020年1~5月顧客購買状況

	1月	2月	3月	4月	5月
買物回数(回)	156,395	67,061	96,814	108,978	115,379
買上点数(点)	833,942	571,950	667,307	610,266	619,020
買上金額(万円)	1,486.60	684	960.8	790.5	744.4
客単価(元/回)	95.1	102	99.2	72.5	64.5
購入点数(点/回)	5.3	8.5	6.9	5.6	5.4

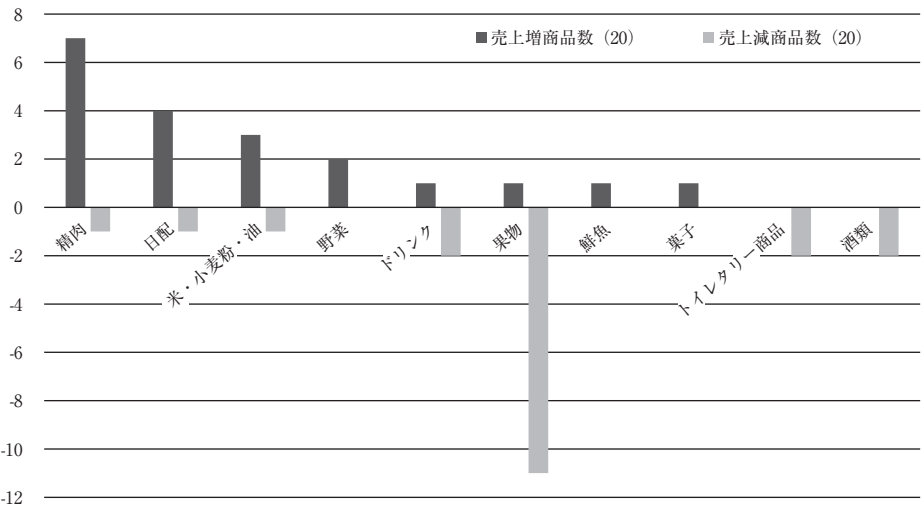
出所: POS データによる筆者作成。

表4 2019年と2020年1~5月売上金額の比較—カテゴリー別 (単位: 万円)

カテゴリー	2019年	2020年	増減率
生鮮	1,331	1,137	-14.5%
一般食品	770	803	4.2%
トイレタリー商品	718	510	-29.0%
菓子類	598	470	-21.3%
惣菜	220	262	19.0%
日配	360	255	-29.1%
チルド商品	152	169	10.6%
酒類	226	160	-29.0%
ドリンク	164	125	-24.1%
マタニティ用品	147	114	-22.3%
衣料品	161	108	-33.2%
ペーカリー	118	93	-21.0%
家電製品	44	68	55.0%
健康食品	86	65	-25.0%
タバコ	97	64	-34.7%
スポーツ用品	39	27	-29.8%
インテリア	38	25	-35.9%
文房具	28	23	-17.6%
合計	5,299	4,478	-15.5%

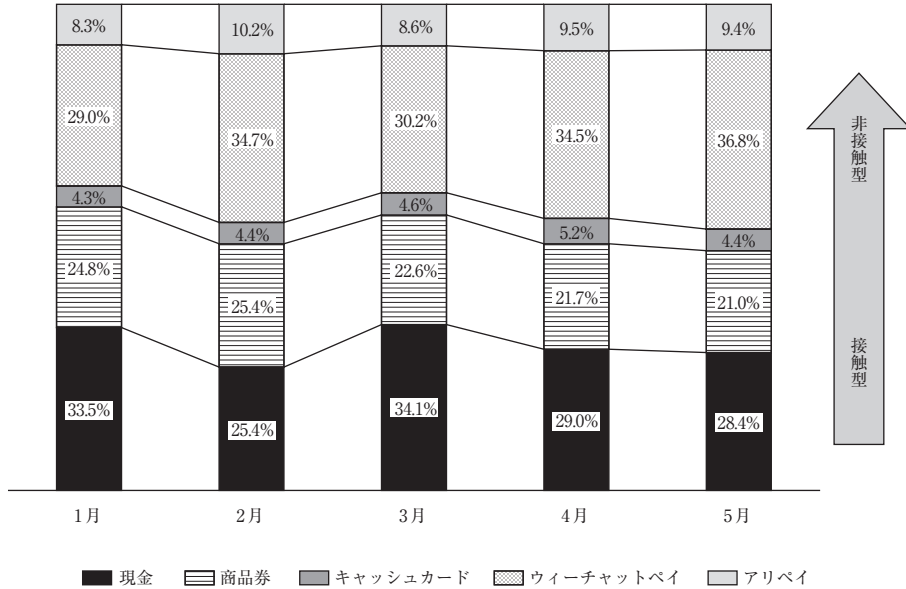
出所: POS データによる筆者作成。

図4 2019年と2020年1~6月カテゴリー別売上増/減上位20商品数 (単位: 件)



出所: POS データによる筆者作成。

図5 2020年1~5月決済手段利用状況（金額割合）



出所：POSデータによる筆者作成。

表5 河北省露店経済に関する政令

都市	制限と条件
秦皇島市	6月1日に施行した「秦皇島市都市環境管理条例」では、車両通行、都市環境・衛生環境及び他人の利益に影響しない限り露店経営が認められると規定した。
石家荘市	6月2日に都市管理局が露店経済推進会議を行った。会議では政令に従い、町・店舗・地域ごとに実状に合わせて露店を管理すると強調した。具体的に、地域ごとに露店開店の日程を明確に規定した。
唐山市	6月5日に施行した「三つの制限、三つの管理」では露店経営に対して場所、時間と規模を制限し、露店の衛生、秩序とリスクを管理すると強調した。

出所：中国報告網（2020.6.9）「河北省 多くの地域に科学管理 露店経済の展開を推進」

(4) 露店経済の復活

露店経済は中国伝統小売業の成長に大きな役割を果たしたが、2000年代以降に環境・食品安全問題や都市建設にあたって国際的なイメージ改善のため厳しく制限されてきた。今回新型コロナによる商業不振や失業などの問題が発生し、新たな雇用を創出するために露店経済に対する規制が緩和された。5月28日に行われた中国全国人民代表大会では李克強首相は露店経営とそれによる経済効果について成都に展開した露店経営の実績を挙げた⁹⁾。この指針を受けて各地域露店への制限が緩やかになり、6月から露店経営が全国に広がっていた。

河北省において秦皇島市、石家荘市及び唐山市はそれぞれ露店経営施策、関連制限と条件等を公表した（表5）。承德市では夜市を推進し新しく22街で夜市を新設した。政府は5,000万元を支出し夜市に関する公共交通施設の増設や環境衛生、食品安全及び治安などに関する管理強化を行った。6月から新設した露店は1,200店を超え、約8,000人の雇用を創出した。夜市による1日平均集客人数はおよそ10万人を実現し1,000万元以上の売上金額をもたらした¹⁰⁾。

3. まとめ

承德市 S 店 POS データの分析によって以下のような 3 つの示唆を得ることができる。まず、新型コロナ背景には消費者のスーパーでの購買行動が変化したことは確認できた。それは買物内容と購買行動パターンとの側面に反映された。1) 買物内容については糧食を中心に買い溜め傾向がある一方、体力を維持する精肉商品への買い求めが増えた。今回のような突発的な出来事の発生にあたって商品多様性需要の減少が見られた。2) 購買行動パターンについては買物頻度と店内滞在時間が減少したものの、客単価と買物点数が増加した。その理由は消費者がまとめ買いに加えて非計画購買商品に計画購買商品に変更したことも考えられる。または感染症の発生による売れ筋商品の変化はスーパーにとって商品構成を見直す機会でもあり、これから、ウィズコロナ社会またはアフターコロナ社会において商品戦略調整に取り組む必要がある。

つぎに決済手段利用状況の変化から、感染症防止のため現金やカードという接触・半接触型の決済手段の利用率が減少し QR コードをスキャンする非接触型決済への利用が増加したことが確認できた。スーパーにとってはキャッシュレス化及び機械決済サービス導入の好機になった。その一方、決済サービスの提供側（各種ペイとアプリ）にとって新しいユーザーを囲い込むための競争戦略を練り直すことは重要である。アリペイのようなオンライン事業を中心に展開する企業はリアル店舗利用者とのタッチポイントを増やすことはユーザー拡大につながる。

さらに行動制限及び感染症に対する不安によって消費者はオフラインからオンラインへ移転する傾向がある。それに対して小売企業はネットプラットフォーム、アプリとミニプログラムなどに注力した。例えば、華潤万家や大潤発、ウォルマート、永輝など大型スーパーも積極的にオムニチャネルを推し進めている。一方、オンライン注文の激増に対して物流産業の配達能力が問われている。とくに人手不足による配達時間が大幅に遅

れる問題がしばしば起きていた。また生鮮食品配達にあたって品質保持という問題もある。

今回新型コロナの発生はスーパー企業にとっては危機であり転機でもある。消費者はオンラインへ移転しリアル店舗から離れる一方で、リアル店舗で購入するしかない商品や、またリアル店舗自体への依存が高まっている。とりわけ感染症拡大のなかで、スーパーの商品調達能力や商品価格維持において消費者との信頼関係を構築してきた。今後スーパーは小売企業として商品を提供するのみならず、社会インフラ整備の一環として位置づけられるべきであろう。

付記

本稿を作成するに際し、中国河北省 K 企業グループに POS データのご提供をいただいた。記して感謝を申し上げます。企業関連情報の使用については学術研究に制限し、本稿にかかる一切の責任は筆者が負っている。

本研究は、科学研究費助成事業若手研究（19K13831）による研究成果の一部である。

注

- 1) 東方資訊ニュース（2019.3.16）「河北承德市 2018 年 GDP 公表 モンゴルとの比較」による。
- 2) Baidu 新型コロナ速報による（2020 年 11 月 26 日時点）。
- 3) 承德市統計局「1 期限定金額以上サービス業九大領域の影響収入の三増六減」による（2020 年 4 月 26 日公表）。
- 4) 河北新聞網「河北省承德市消費促進活動を展開」による（2020 年 5 月 12 日公表）。
- 5) 承德市統計局「上半期承德市限定金額以上貿易関連 4 領域販売額回復」による（2020 年 8 月 21 日公表）。
- 6) 承德日報（2018.2.3）「承德市 2017 年国民経済と社会発展統計公報」第 8132 号、第 04 版。
- 7) 中国連鎖経営協会「2019 年中国スーパー百強」による（2020 年 6 月 29 日公表）。
- 8) 2020 年旧正月の大晦日は 1 月 25 日であり、春節の休暇は 1 月 31 日まで予定された。2019 年は 2 月 5 日となったため、買物ピークは 1 月末から 2 月初頭にまたがっていた。
- 9) 中国紀律検査委員会（2020.5.30）「露店経済を復活：雇用創出 市民生活確保」による。
- 10) 河北新聞網（2020.9.8）「河北承德市夜市 22 街を新設 新增投資 7.5 億元」による。

<参考文献>

Baidu 新型コロナ速報 (<https://voice.baidu.com/act/newpneumonia/newpneumonia/>)

- Zhao Nan (2015.2) “The Research on Present Situation and Development Trend of Retail Industry in Chengde City”, “Journal of Hebei Normal University for Nationalities”, Vol.35, No.1
- 愛企查工商企業登録情報検索 (<https://aiqicha.baidu.com/>)
- 河北新聞網 (2020.5.12) 「河北省承德市消費促進活動を展開」
- 河北新聞網 (2020.9.8) 「河北承德市夜市 22 街を新設 新增投資 7.5 億元」
- 疾病予防管理局 (http://www.nhc.gov.cn/jkj/s2907/new_list.shtml)
- 承德市統計局 (2020.4.26) 「1 期限定金額以上サービス業 九大領域の影響収入の三増六減」
- 承德市統計局 (2020.8.21) 「上半期承德市限定金額以上貿易関連 4 領域販売額回復」
- 承德市統計局 (<http://tjj.chengde.gov.cn/>)
- 承德日報 (2018.2.3) 「承德市 2017 年国民経済と社会発展統計公報」第 8132 号, 第 04 版
- 中国紀律検査委員会 (2020.5.30) 「露店経済を復活：雇用創出 市民生活確保」
- 中国報告網 (2020.6.9) 「河北省多くの地域に科学管理 露店経済の展開を推進」
- 中国連鎖経営協会 (2020.6.29) 「2019 年中国スーパー百強」
- 東方資訊ニュース (2019.3.16) 「河北承德市 2018 年 GDP 公表 モンゴルとの比較」(<https://mini.eastday.com/a/190316063226613.html?qid=02263&vqid=qid 02650>)